

京都府相楽郡和東町

課題

1. 「お茶」を鍵とした地域資源の発見
2. 歴史文化遺産の活用
3. 環境問題(里山保全・空き家・ごみ)



実現を目指していく地域のイメージ

小さな農業・林業を営みながら、
小さな観光の対象としての小さな独立王国
【茶源郷和東】



調査事業の概要

1. 人材育成→住民意識改革とリーダー創出
 - ①ワークショップ→地域資源の整理と気づき
 - ②全世帯アンケート実施→全住民に町の意向を示す
 - ③住民宅訪問ヒアリング→住民の潜在意識の顕在化
2. 実行力の蓄えと連携先の模索 <茶の成分分析>
 - ①ほうじ茶に的を絞る成分分析→健康成分の商品化
 - ②生活ガイドグループの設置研究→町の良さ再発見
・既存のグループを活用したコミュニティー強化
3. 農山漁村交流プロジェクト
 - ①子ども受け入れの可能性調査
 - ②人材と空き家の利活用調査
 - ③6次産業化に向けた特産品開発
4. 歴史文化体験による交流の創出
 - ①歴史ガイド団体の設立
 - ②交通状況の把握
 - ③子どもたちによる故郷調査
5. 自給自足できる食の確保とエネルギーの確保
 - ①里山保全・生ゴミ堆肥化・野菜直売所・地産地消



対応策の提示

<これまでのノウハウ、対応策>

【茶源郷 和東】

1. 「和東」のブランド化
2. 「お茶」を使った活性化
3. 行政が住民活動の連携を推進し活性化推進策
・住民個々の活動の連携を推進→従来の点の活動から線の活動へ

町の資源の可視化を！

<調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策>

【茶源郷 入ル 草庵茶室 和東】

1. 「人材」こそ最大の資源<動的資源>
・住民は「動かねば」と考えていた
2. お茶の「香りと文化」に着目<静的資源>
・和東の歴史とお茶の香りも資源
3. 動的資源と静的資源の融合
・和東の自然・茶の文化を背景に住民自らが活性化を牽引



<今回の調査により得られた新たな課題>

1. リーダーの育成と組織化<動的活性化>
・人材のグループとネットワーク化の促進支援が必要→面の活動へ
2. 町じゅうに草庵茶室を配置<静的活性化>
・和東茶の香りに包まれながら人・自然・文化・歴史と触れ合える場造り
3. 茶業・農業・林業全てを6次産業へ転換<動的活性化>
・ほうじ茶から発見した未知成分の製品化研究
・和東産野菜の直売化と地元学校給食消費へ
・震災を教訓とした木質エネルギー利用拡大

動的活性化と
静的活性化を
両輪で躍動させる！

